



長久保赤水

NAGAKUBO ● SEKISUI

関係資料693点が国民の財産に

祝

国の重要文化財指定が決まる

長久保赤水関連資料 693 点の国重要文化財指定が決まる。この資料群は、長久保赤水の子孫にあたる複数の家などに伝来した赤水手沢の一括資料で、地図・絵画類 84 点、文書・記録類 279 点、典籍類 274 点、書画・器物類 56 点から構成される。

赤水の学問の内容、交友関係、生涯の事績を考える上で最もまとまった資料群で、江戸中後期の文化史、地図史等の学術的な研究上に価値が高い。



長久保赤水 (1717～1801)

1717年、常陸国多賀郡赤浜村現在の高萩市の農家に生まれる。幼くして父母を失い、母の手で育てられた14歳のころ、水戸の学者である名成屋に学び、学問研究に励むと同時に、貧困者や病人などを救うために活版屋、地域の人々から尊敬された。赤水52歳のとき、水戸藩から学問の功績によって郷士格に列せられる。後に、61歳の時、水戸藩主徳川治保の待講となり、江戸小石川に勤めた。「農民から侍講となった者は例のないことであった」。

赤水の功績としてよく有名なのが、1779年に完成、翌年の春に刊行した『改正日本輿地路程全図』である。地図の正確さと詳細さ、便利さが喜ばれ、間違った人々に役立った。まさに、近代的な日本地図の先駆けであった。

その後は藩主の命により、大日本史編纂の「地理志」の執筆にあたり、75歳までの完成に努力し、1801年赤浜村で85歳の生涯を終えた。赤水の学者としての功績・努力は、郷土の先人として学ぶことが多い。

(「とよかたり」2001年1月号、シリーズ博士の先入「長久保赤水」より)

明治維新エネルギーの起爆剤「赤水図」

日本地図といえは伊能忠敬を思い浮かべる人が多いようですが、伊能図は幕府により秘蔵され、実は江戸時代には庶民の目には触れなかったのです。これに対し、長久保赤水の赤水図は、江戸時代末期までの約100年間ベストセラーとなり、吉田松陰も愛用したと言われています。明治維新のエネルギーは、この赤水図をもとに生まれたとも言えます。

初めて経緯線の入った日本地図を発刊し大衆化

赤水は地図に天文学の知識を取り入れ、初めて経緯線の入った日本地図を発刊し大衆化しました。最大の特徴は実用性です。多くの情報を収集し、学問的に検証し検証を重ねた編纂図です。若い時から和漢の天文・地理の書に精通し、木村兼霞堂や古川古松軒など幅広い交友関係があったので、正確で詳細な地図が作れたのです。

松下村塾や全国の藩校で使われた赤水図

蒲賀にペリー艦隊が来た時も、伊能図は江戸幕府の秘図のため、ごく限られた幕府要人しか見ることができず、明治初年まで一般人は利用できませんでした。このため、萩の松下村塾をはじめ全国の藩校で使われていたのは、赤水の日本地図、中国地図、世界地図、中国歴史図帳でした。江戸時代の人々に、日本が世界のどこにあり、今自分が日本のどこに立っているかを教えてくれた地図です。幕末の黎明期に、諸外国が日本を植民地化しようと押し寄せて来た時に、日本を救ったのが赤水図なのです。

伊能忠敬も赤水図を測量にも携帯

小宮山楓軒の「懷宝日記」には、【伊能忠敬は幕府の命令で日本地図を製作している。人に話して「私は諸州を歩き回って実測で地図を作ったが、非常に難しいと感じる。水戸の長久保赤水が居ながらにして地図を作れたことには、非常に感心する」と書いている。】さらに「江戸日記」や「測量日記」に【忠敬も赤水図を所持しており、測量にも携帯して随時参照している】とあります。

世界に通用した日本が誇れる先人、長久保赤水

長久保赤水は、明治44年6月1日に、日本地図や大日本地理志稿編纂などの功績で、従四位を贈られました。時の内閣総理大臣は桂太郎でした。松平昭訓、貝原益軒、塙保己一、桂川甫周、大槻玄澤、柴野彦輔などと並んで、5番目に長久保源五兵衛(赤水)の名前があります。この時の追贈者は全部で13名でした。



ご挨拶



茨城県知事
大井川 和彦

この度、「長久保赤水関係資料」693点が、国の文化審議会の答申を受け、国指定重要文化財に指定される運びとなりましたことを、心からお祝い申し上げます。本資料の学術的価値が高く評価されたことは、これまで永きにわたり保存と活用に熱心に取り組まれた長久保赤水顕彰会をはじめ関係者の皆様のおかげで努力の賜物であり、深く敬意を表する次第です。

本県では、平成29年1月に、「長久保赤水関係資料」を、赤水の地図製作過程ならびに天文学等の解明に係る学術的価値がきわめて高い資料群として、茨城県指定有形文化財(歴史資料)に指定いたしました。

この度、本資料が国指定重要文化財に指定されることで、長久保赤水の人となりや功績が全国の方々に深くご理解いただけますことや、県民の皆様の郷土に対する愛着や誇りがより一層育まれますことを期待しております。最後に、長久保赤水顕彰会の更なるご発展を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



高萩市長
大部 勝規

このたび、長久保赤水関係資料が国の重要文化財指定を受けることとなりました。赤水の郷里である高萩市民の一人として、まことに誇らしく、喜びに堪えません。

長久保赤水は江戸時代の儒学者です。高萩市赤浜の農家に生まれ、学才を認められて水戸藩主の侍講(教師)となり、江戸に勤務するかわら、地理学・天文学・農政学等多岐の分野にわたる研究成果を生み出しました。

これまで本市では、赤水ゆかりの子孫の方々や郷土史家の方々、長久保赤水顕彰会から資料のご寄贈を受けており、これをもって大変貴重な資料群の所有に至りました。今回の国重要文化財に指定される資料のほとんどはご寄贈いただいたものであります。

今後私たちは、国民の財産となります長久保赤水資料の保存と活用を進めてまいります。かつて、赤水が研鑽の成果として発行した日本図は、赤水の没後も版を重ね、国内外において日本の国土理解に大きな役割を果たしました。私たちが赤水にない、資料の効果的な公開を図るとともに、国内外へ赤水の業績を広めてまいりたいと考えております。今年度策定しました高萩市観光振興計画では「長久保赤水ゆかりの地PR事業」を、歴史遺産を周遊する観光づくり事業として位置づけております。本市としては、長久保赤水について学び、顕彰することで、活気あるまちづくりを進めてまいります。

「赤水図」原寸大レプリカを記念発行!!



長久保赤水顕彰会会長
佐川 春久

長久保赤水顕彰会は、赤水先生の生誕250年にあたる平成4年11月6日の誕生日に設立されました。

その後、2017年の生誕300年を経て、今日まで各方面の皆様方のお力添えをいただきながら、このほど、ようやく、国の重要文化財指定が決まりました。お世話になりました多くの皆様方に対し、この場をお借りしてお礼申し上げます。

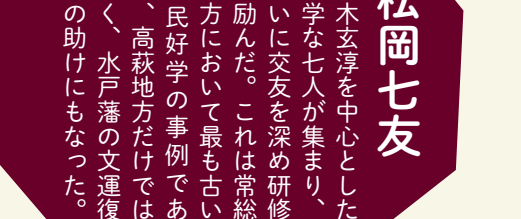
また、今後は、「学ぼう赤水を」教科書に載せて「広げよう世界へ!」「ひよっこ次は『大河ドラマ長久保赤水伝』を実現しよう!」「長久保赤水記念館の開館」の3本柱を掲げ、会員一丸となって目指して参ります。

さらに、今年の11月6日には、『赤水図』原寸大レプリカ【両面刷り】を発行します。このため、現在、クラウドファンディングで寄付金を募っております。なお、10万円以上ご寄付いただきました企業には、レプリカ紙面上に会社名を記入いたします。詳しくは、パソコンやスマートフォンで「長久保赤水 キャンプファイヤー」を、一度検索してください。そして、私どもの活動をご支援いただければ幸いです。

「赤水図」は一世紀にわたり流布



郷土に育まれた赤水



マンガ『長久保赤水物語』(長久保赤水顕彰会発行)より

改製日本分里図

20年以上の歳月をかけて作成した『改製日本分里図』は生々しい修正痕が残り、長久保赤水の「汗と英知の結晶」であることがわかる。

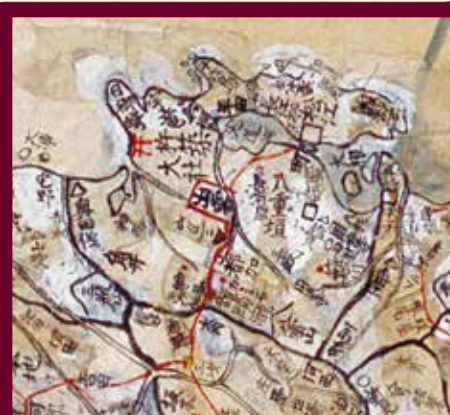
▼「赤水図」の原図 明和5(1768)年



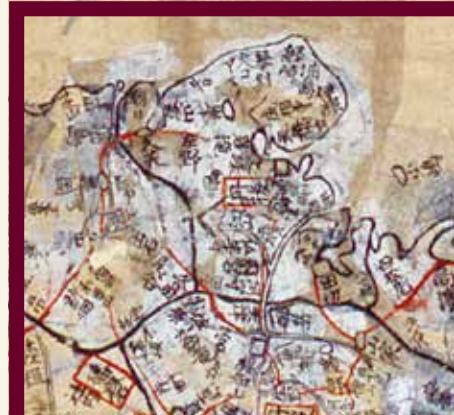
和紙を幾重にも貼り、検証を重ね、胡粉による修正を加えていた



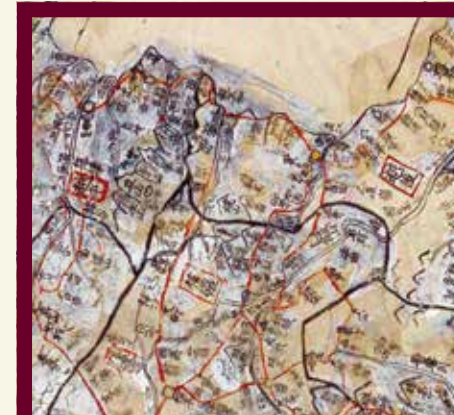
九州南部付近



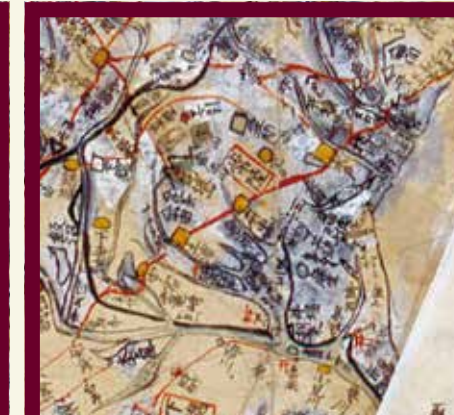
出雲国付近



丹後国付近



越後国・越中国付近



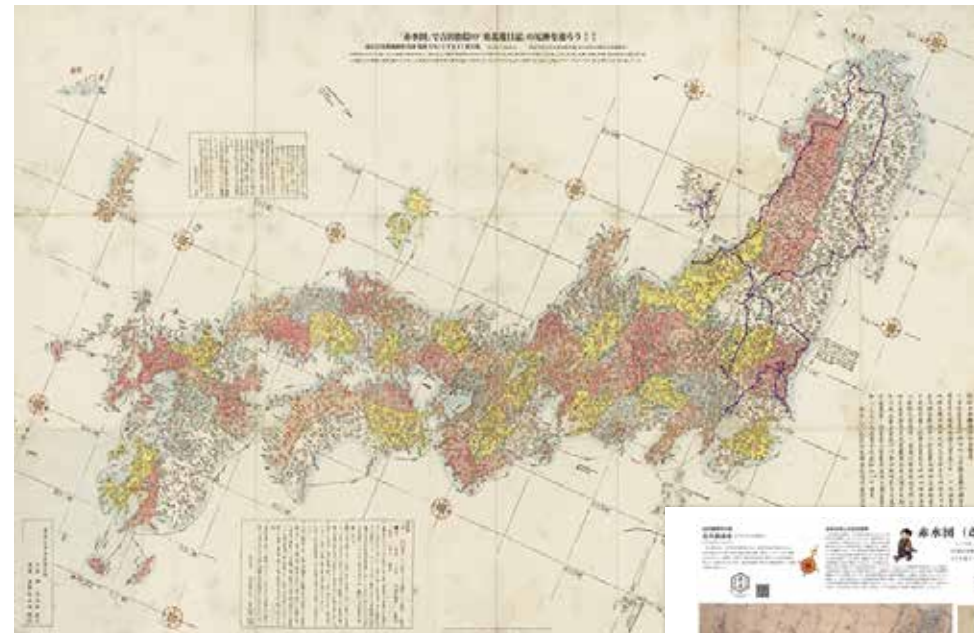
常陸国付近



下北半島付近

◆国の重要文化財指定記念 原寸大『赤水図』レプリカ (再版・両面刷り)

令和2年11月6日(赤水の誕生日)発行予定!



高萩・赤水を愛する皆様へ

10万円で

スポンサー企業名の掲載権

クラウドファンディング10万円以上の法人寄付につきましては、原寸大『赤水図』レプリカの裏面下側に企業名が入ります。

【裏面】

【表面】

表面には、【赤水図で吉田松陰の「東北遊日記」の足跡を辿ろう!!】裏面には、【赤水図の変遷】を掲載。

原図、初版、第2版、第3版、第4版、第5版の比較できるA3版のレプリカです。

【制作見本】

みなさまのご協力
お願い致します

こちらに企業名を掲載させていただきます

絵本「りゅうのひかり」

絵・時崎清 文・夏井芳徳

磯田道史先生も推薦!
『赤水図』に書かれた「蘭伽井嶽の龍燈」の謎に迫る――

赤水は、『赤水図』と呼ばれる『改正日本輿地路程全図』(第2版)の中に、福島県いわき市の蘭伽井嶽の龍燈について記述を残しています。

また、『東北南部から近畿図』の地図や紀行文の「東奥紀行」、さらには、『赤水文章』の中にも、その記述を残しています。なぜ記述を残したのでしょうか?その謎に迫ります。



好評販売中

A4版変形、80ページ
定価1,000円+税

長久保赤水顕彰会事務局

〒318-0103 高萩市大能 341 代表 佐川 春久

Eメール : haruhisagawa@yahoo.co.jp
ホームページ : http://nagakubosekisui.org/

顕彰会 会員募集

長久保赤水顕彰会は全国517名で活動しています(4月21日現在)。国の重要文化財指定記念を機に、会員1,000名を目指し会員を募集しております!また、「通年」の寄付金も募集しております。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

寄付金募る!「長久保赤水 キャンプファイヤー」



「長久保赤水顕彰会」では、国の重要文化財指定記念の各種事業展開のため、3月29日からクラウドファンディング「CAMPFIRE(キャンプファイヤー)」において購入型寄付を募っています。「長久保赤水 キャンプファイヤー」で検索または、左のQRコードや以下のURLから直接プロジェクトページにアクセスいただきぜひご支援をよろしくお願い致します。
https://camp-fire.jp/projects/view/249538